

大反響を呼んだ写真展「第九のきせき」が今春、竹芝に！

ダイアログ・ダイバーシティミュージアム×ホワイトハンドコーラス×写真家 田頭真理子

コラボ企画展 体験型写真展「第九のきせき」

2022年4月29日～5月29日 開催決定

2022年4月4日

一般社団法人ダイアログ・ジャパン・ソサエティ

一般社団法人El Sistema Connect

一般社団法人ダイアログ・ジャパン・ソサエティ（東京港区、代表理事：志村季世恵）は、一般社団法人El Sistema Connect（東京都中央区、代表理事：コロン・えりか）によるホワイトハンドコーラスNIPPONの活動を表した写真家 田頭真理子氏撮影の写真展「第九のきせき」を2022年4月29日～5月29日に東京・竹芝のダイアログ・ダイバーシティミュージアム「対話の森」にて開催します。



©Mariko Tagashira Photography

Sanfter Flügel; やわらかい翼

2021年11月、東京芸術劇場にてわずか4日間開催された写真展「第九のきせき」は、様々な分野の方から大きな反響がありました。今回は、ダイアログ・ダイバーシティミュージアム「対話の森」にて、「こんな写真展は見たことがなかった！」という体験を、さらにバージョンアップしてお届けします。

ある聴覚障害の方は「初めて第九のすごさを感じることができた」と仰いました。聴覚を超えて音楽を感じる写真、また視覚を超えて音楽を感じる写真を目指します。時代、文化を超えて多様な表現者との「対話」を促し、ベートーヴェンが伝えたかったメッセージの21世紀バージョンを体験していただきます。

ベートーヴェンによる不朽の名作「交響曲第九番」を尊重した、それぞれの現代の表現者による展示、多くの人に感じていただければ幸いです。

【体験型写真展「第九のきせき」開催概要】

【開催日時】2022年4月29日（金・祝）～5月29日（日）11:00～18:00 ※月曜休館（5月2日は開催）

【開催場所】ダイアログ・ダイバーシティミュージアム「対話の森」

アトレ竹芝シアター棟1階（東京都港区海岸一丁目10番45号）

アクセス：浜松町駅（JR・モノレール）徒歩6分、大門駅（地下鉄大江戸線・浅草線）徒歩7分、竹芝駅（ゆりかもめ）徒歩3分

【入館料】中学生以上：1,000円（税込）/小学生以下：無料 ※保護者の同伴が必要です。

【写真展の三つのポイント】

- ① ベートーヴェン『交響曲第九番、第四楽章』に描かれた歌詞の意味を、手話言語によって可視化する試みです。全ての写真は「第九」の歌詞の一部を切り取っています。ろう者の表情豊かな表現力にもご注目ください。
- ② 音楽×写真の要素を組み合わせたコラボレーションならではの作品です。各写真には1～4秒の時間が封じ込められています。視覚障害者も楽しめるよう、音響にも工夫しています。
- ③ 参加者も能動的に作品に関わる仕掛けがある、体験型の写真展です。ソーシャルエンターテインメントを手がけるダイアログ・ダイバーシティミュージアムならではのコンテンツとなります。会期中にはフォトセッションを実施、参加者と共に展示の最終章を完成させていきます。

【後援】駐日ベネズエラ大使館 【特別製作協力】株式会社アマナ/NIKKOL GROUP

【協力】キャノンマーケティングジャパン株式会社

【ダイアログ・ダイバーシティミュージアム「対話の森」特別協力】株式会社アトレ

【ダイアログ・ダイバーシティミュージアム「対話の森」特別協賛】

東日本旅客鉄道株式会社/清水建設株式会社

【ダイアログ・ダイバーシティミュージアム「対話の森」協賛】

日鉄興和不動産株式会社/株式会社ベネッセホールディングス

【フォトセッション開催概要】

開催日時：4/29・30 5/3・4・5・21・22・28・29（予定）

開催時間：11:00～12:00/14:00～15:00（各回定員10名）

参加費：2,000円（税込）/1名

内容：写真家 田頭真理子氏が参加者を撮影します。参加者が光る手袋をはめて表現した、「歓喜」の軌跡写真を最後の展示室に会期中増やしていき、訪れた人々の歓喜を重ねていきます。



Freude; 歓喜

【手歌体験ワークショップ開催概要】

開催日時：5/7・8・14

開催時間：各回30分（各回定員：20名）

参加費：1,000円（税込）/1名

内容：ホワイトハンドコーラスNIPPONで指導する先生たちと一緒に、手歌を歌ってみよう！白い手袋をはめて、音楽に合わせて手歌にチャレンジします。指導はホワイトハンドコーラスNIPPONの指導陣です。



【ミニコンサート開催概要】

開催日時：5月8日（日）15:00～15:30 参加費：無料

内容：写真展の被写体となっているホワイトハンドコーラスNIPPONの子どもたちが、ダイアログ・ダイバーシティミュージアムにやってきます！目が見えない子、耳が聞こえにくい子、障害のない子も、対話しながら作り上げる、まさにダイバーシティあふれる合唱団のパフォーマンスをお楽しみください。



■ダイアログ・ダイバーシティミュージアム「対話の森」 <https://taiwanomori.dialogue.or.jp/>

目以外の感性を使い楽しむことのできる「ダーク」では、見た目や固定観念から解放された対話を。表情やボディランゲージで楽しむ「サイレンス」では、言語や文化の壁を超えた対話を。そして「タイム」では、年齢や世代を超え、生き方について対話をします。世代。ハンディキャップ。文化。宗教。民族。世の中を分断しているたくさんのものを、出会いと対話によってつなぎ、ダイバーシティを体感するミュージアム。この場で生まれていく「対話」が展示物です。



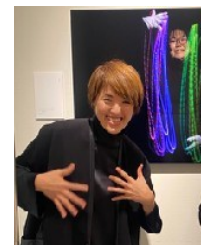
■ホワイトハンドコーラス NIPPON <https://elsistemaconnect.or.jp/white-hand-chorus-nippon/>

聞こえない子も、見えない子も、その友達も、多様な子どもたちが互いの力を合わせて活動するユニークな合唱団。手の表現で歌う（手歌）サイン隊と、合唱で歌う声隊から成る。ホワイトハンドコーラスNIPPONは2020年度より一般社団法人El Sistema Connectと東京芸術劇場の共同主催事業として開始、2021年2月京都はぐくみアクション賞受賞。2021年8月新国立劇場の新作オペラ「Super Angels」に出演し、メディアでも大きく取り上げられた。



■田頭真理子 MARIKOTAGASHIRA /写真家 marikotagashira.com

広島県尾道市出身。高校卒業後、写真家立木義浩氏と出会い写真家を志す。客船「飛鳥」船上カメラマンを経て、2005年キャノンギャラリーにて初の個展「mobile sense」開催。その後フリーランスフォトグラファーとして活動を開始。2019年にベネズエラを訪れ本場のホワイトハンドコーラスに魅せられ、以後ホワイトハンドコーラスNIPPONの撮影を続けている。



映像・音源協力：バッハ・コレギウム・ジャパン / 音響：株式会社ノモス / デザイン：則武弥

【本リリースに関する報道・お問い合わせ先】

一般社団法人ダイアログ・ジャパン・ソサエティ <https://djs.dialogue.or.jp/>

東京都港区海岸一丁目10-45 アトレ竹芝シアター棟1階 担当：山崎 press@dialogue-japan.org

一般社団法人El Sistema Connect 事務局 elsistemaconnect.or.jp

東京都中央区日本橋2-2-3 RISHEビル4F 担当：千葉 info@elsistemaconnect.or.jp